



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
ふらいすれす 俳優 星田英利



- 4 インタビュー／扉を開く
毛利 衛 日本科学未来館 館長・宇宙飛行士
宇宙の視座から考える「地球と人類」の未来
- 9 地域の底力——兵庫県丹波篠山市
人々の日常に溶け込む城下町と農村の伝統が
あらたな価値を生む兵庫県丹波篠山市



- 16 対談／守・破・創
齋木尚子 元外交官・日本ラグビーフットボール協会 理事
政井貴子 日本銀行政策委員会 審議委員
「日本外交の要諦」は、価値観が多様化する現代の課題解決に通底する

- 20 歴代日本銀行総裁小史～Short History～ 第4回
第五代総裁 山本達雄

- 22 FOCUS → BOJ 34 日本銀行決済機構局 業務継続企画課の仕事
どんなときも安心してお金が使えるように
日本銀行の業務継続を支える日常

日本銀行のレポートから

- 26 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2020年10月—

- 28 「金融システムレポート」—2020年10月—



- 32 トピックス
「中央銀行デジタル通貨に関する日本銀行の取り組み方針」の公表について ほか
- 35 AIR MAIL from Hong Kong
超高層ビル群から抜け出して

※本誌は12月4日(金)までの情報をもとに掲載しています。

表紙のことは

現在の日本銀行下関支店は、山口県全域を管轄する目的で昭和二十二年(一九四七)十二月一日に開設されました。もともと下関市(当時の赤間関市)には、明治二十六年(一八九三)に西部支店が開設されましたが、明治三十一年(一八九八)に門司(現北九州市門司区)に移転しました。その後半世紀ほど、日本銀行の支店は県内に存在しませんでした。しかし戦争直後のインフレーションにより大幅に増加した事務の円滑な遂行のために、山口県における金融経済の中心地である下関市に改めて支店が設置されることになりました。下関支店は、日本銀行の支店が町から離れ、同じ町に再び設置された稀有な事例です(下関市から移転した西部支店は、現北九州支店へと引き継がれています)。

表紙の下関支店初代店舗は、戦災に遭った旧下関税務署庁舎を引き継いで増改築したものです。本州と九州の接点に位置するこの地で、下関支店はこれからも地域とともに歩み続けます。



表紙・画 北村公司